

養 氣 軒

ようきけん

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



Hospital Director Greetings

年頭のご挨拶

長崎川棚医療センター 病院長

藤岡 ひかる

Hikaru Fujioka

新年明けましておめでとうございます。

全世界がコロナ禍に見舞われて4年が過ぎました。やっと終息してきたようですが、まだまだ油断できません。病棟においてはまだまだ面会制限しております。

コロナ感染を否定させてもらうための全入院患者さんのPCR検査、玄関での検温は廃止いたしましたが、院内感染が発生しないよう警戒が必要です。

最近では、コロナ感染の重症化は少なくなり、“With Corona”の時代になっています。しかし、医療施設である長崎川棚医療センターではまだまだ“With Corona”を実感できない職員の皆さんが多いことと思います。もう少し、頑張りましょう。今年こそは、地域の皆さんにご不便をおかけする体制を一刻も早く解除できるよう祈っています。

コロナ禍に見舞われてあしかけ4年、長崎川棚医療センターを取り巻く医療情勢は非常に厳しいものとなっています。また、気候変動のためと考えられる天候不順、不穏な世界情勢と明るい話題は少ないです。しかし、『救急患者さんへの対応・慢

性期及び回復期の患者さんの診療・神経筋難病等の診療』など、当院の使命をしっかりと果たしていかなければなりません。

『地域の皆さんに信頼される病院』となるために、2024年も『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします。そのために、患者さんは言うまでもなく、全職員ひとり一人を大切にします』という当院の理念のもと、職員一丸となってさらに頑張っていきましょう。

皆さんにとって、2024年がさらに素晴らしい一年であることを祈り、ご挨拶いたします。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

A HAPPY NEW YEAR

2024

診療科紹介(消化器内科)

消化器内科医長 松本 章子

『私たちの体は食べたものでできている。』栄養学の権威の言葉ですが、その食べるものを消化吸収し、取り込んで役立っているのが消化器です。

大まかに分けると、口から肛門までの食べ物の通り道である消化管と実質臓器である肝臓、胆嚢、膵臓に分かれますが、これらの臓器を扱うのが消化器内科です。

食べ物を消化吸収することは、体を維持するのに必要な働きです。胃が痛い、食欲がわからないといったことに大きな病気が潜んでいる可能性もあります。おなかの不調を感じたらそのままにせず、診察を受けることが大事です。

また、おなかの不調がなくても、定期的に検査を受けて異常がないか確認することも大事です。これまで内視鏡検査を受けたことがない方は、一度は内視鏡検査を受けることをお勧めします。



私たちは、皆様の『おなかの機能』を守るお手伝いをします。困ったこと、気になることがあれば気軽にご相談ください。

部署紹介(企画課)

企画課長 白石 剛

企画課は、物品等の購入や業務委託、設備整備等の契約に関する業務を行う契約係、診療費の収納(お支払い)に関する業務を行う財務管理係、費用の支出に関する業務を行う経理係の3つの係で構成されています。

患者さんや職員等、病院運営にかかわるすべての方たちと接する部署ですので、円滑なコミュニケーションを図り、患者さんからの信頼向上と病院の発展に日々努力しております。



編集後記

教育担当看護師長 松本 深雪

新年明けましておめでとうございます。
新型コロナウイルス感染症が5類になり、初めての年明けとなりました。令和6年の干支である「甲辰」は、「甲」が草木の成長を表し、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があります。
そのため、令和6年辰年は昨年まで努力してきたことが、

実を結んで成就する年になるとも言われています。
コロナ禍を乗り越え、日常を取り戻しつつある今、これまで培った知識や経験が活かされ、より時代の変化に柔軟に対応できていくのではないのでしょうか。
少しでも皆さんにとって明るい年になりますよう、尽力していきたいと思います。